

「ゆう保育園」が当院関連施設に

一時保育もOKです!

12月1日(金)、当院から徒歩5分の所に開園した「ゆう保育園」が、関連施設として優先的に利用できることになりました。0・1・2歳児、定員12名の家庭的な雰囲気の中、あたたかいぬくもりのある保育を目指します。



かつて助産院だった建物を快適にリノベーション



のびのび遊べる園庭♪



園長の結城治代さん

企業主導型保育事業施設
ゆう保育園
(アイ・レディスクリニック提携施設)
名古屋市南区港東通1丁目17番地
TEL.052-611-8999
<http://you-hoiku.com>



<http://you-hoiku.com>

理事長・山口勇の「長寿の祝」

今年10月29日(日)、卒寿を向かえた山口勇理事長が、日本ガイシフォーラムで「長寿の祝」を開催しました。かつて交流のあった皆さんが県外からも多く会場に足を運ばれ、なごやかな時間を共に過ごしました。



来場者を笑顔で迎える山口勇理事長



記念としてお渡しした写真集と記念誌

理念

家族を想う気持ちを大切にしたい

基本方針

1. 地域への貢献

私たちは24時間体制で地域住民が安心できる医療を提供できるよう努めます。

2. 選ばれる病院

私たちは一人ひとりが「山口病院の顔」であり、患者さんに「山口病院を選んで良かった」と思われる雰囲気づくりに努めます。

3. 向上心と信頼関係

私たちは常に向上心を持ち、お互いに尊敬し合い、信頼できる関係で、「和」の気持ちが「輪」の絆へと繋がるように努めます。

■ 診療科目

- 一般診療 整形外科、内科、外科、消化器科、脳神経外科、リウマチ科、リハビリテーション科、皮膚泌尿器科、肛門科、放射線科、麻酔科
- 特殊診療 CPAP(睡眠時無呼吸症候群治療)、AGA(男性型脱毛症)在宅酸素療法、禁煙治療、ED(勃起障害治療)
- ※訪問診療 病状などにより、通院が困難な方のお家をお訪ねします。

■ 病床数 60床(うち地域包括ケア病床 12床)

■ 診療日

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
午後 4:00~ 6:00	●	●	●	●	●	×

休診日/日曜日・祝日・土曜日午後
※救急・ケガ等の場合はいつでも診療いたします(24時間体制)

医療法人 山和会 山口病院

〒457-0836 名古屋市南区加福本通3-28

TEL 052-611-6561(代) FAX 052-613-0333

名鉄:「大江駅」下車、南へ150m

市バス: 新瑞橋13系統(左回り)/新瑞橋14系統「港東通」下車
神宮15系統「大江駅前」下車

<http://www.yamaguchi-hp.jp>



スマートフォンでもご覧ください



やまぐち

患者さまと病院をつなぐ広報誌

2017/2018 Winter

健康で長生き!
山口病院の4コマまんが

誰でもかかる
「冬の感染症」。
大切なのは予防と対策。

ご自由にお持ち帰りください





誰でもかかる冬の感染症。大切なのは予防と対策。

冬に感染症が流行しやすいのは、ウイルスが低温や低湿度の環境を好むから。しかも空気が乾燥していると、咳やくしゃみの飛沫が小さくなり、ウイルスが遠くまで飛んで感染エリアが拡大します。今回は、冬に流行するインフルエンザとノロウイルスを取り上げます。

山口病院の感染症対策

院内感染対策委員会（ICT）を立ち上げ、職員が一丸となって感染症対策に取り組んでいます。感染症の疑いのある方は、受付で遠慮なくお伝えください。

お問い合わせ

山口病院
052-611-6561 (受付)



*受付の状況によっては、お待たせする場合がありますのでご了承ください。

冬にかかりやすい感染症

インフルエンザ

流行時期: 11月～2月



- 潜伏期間は1～4日(平均2日)
- 高熱(38℃以上)が出るなど急激に症状が現れる
- 強い倦怠感など全身症状を伴う
- 乳幼児や高齢者の中には、脳炎や肺炎を併発することがある

咳やくしゃみによる飛沫感染や接触感染が多い。通常は1週間程度で治りますが、乳幼児や高齢者の中には、脳炎や肺炎を併発して重症化したり、脱水症状を起こして脳梗塞や心筋梗塞に至ったりと、危険を伴うことがあるので注意が必要です。発症したら早めに受診し、水分や栄養を摂って、しっかり身体を休めましょう。

ノロウイルス

流行時期: 11月～2月



- 潜伏期間は12～48時間
- 激しい嘔吐や下痢を伴う
- 感染力が非常に強い
- 一度かかっても、何度も感染する

少量のウイルスでもうつる強い感染力を持ち、激しい嘔吐や吐き気が突然起きるのが特徴です。通常は2～3回で治まりますが、注意したいのが嘔吐物や排泄物を介した2次感染です。家族で同じトイレを使うときは、すぐ消毒*しましょう。また、ウイルスを外に出せば治るので、下痢止めの服用は禁物です。

*アルコール消毒は効きません。塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)で消毒しましょう。

医師からのメッセージ

うがい・手洗いで予防を徹底し、かかってしまったら早めに受診を

感染症が流行するシーズンは、特にうがい・手洗い、アルコール消毒などを徹底し、日頃から感染予防を心がけることが重要です。それでもかかってしまったら、無理をせず、早めに受診*して身体を休めましょう。発症後48時間以内に抗ウイルス薬を服用すれば症状は軽減します。なお受診の際は、「うつさない」「もらわない」ために、ぜひマスク着用をお願いします。ウイルス検査で感染症

ではなかった場合も、あなどってはいけません。症状の重い方は脱水症状に気をつけて水分をしっかり摂り、やはり身体を休めることが大切です。

内科部長・院内感染対策委員会（ICT）委員長
吉川 武志

看護師も消毒液を携帯して感染予防に努めています!



*発症後半日は、検査してもウイルスが検出されないことがあります。



検査で感染の疑いのある方は、別室で優先的に診察しますので、周囲の方はご理解とご協力をお願いします。

笑顔とやまぐち

人を笑顔にすると「やった!」と嬉しくなります。

学生時代にアルバイトでお世話になったのがきっかけで働かせていただくことになり、もう10年になります。優しいスタッフが多く、職種を越えてみんな仲良く協力しながら働いています。昔から人を笑わせるのが大好きで、面白いことを言って相手が笑顔になると「やった!」と嬉しくなるんです。いつもニコニコしているからか、受付でも患者さまに話しかけられることが多いですね。病気で不安な気持ちを抱えて来院される患者さまも多いと思うので、笑顔でお迎えし、少しでも元気な気持ちでお帰りいただきたいと思っています。



事務 伊藤 智美

同僚からのメッセージ

明るく可愛いだけでなく、みんなに好かれる優しい方です。入職当時から変わらない、明るい彼女。おかげで職場の雰囲気がいっぱい和やかです。(事務 石田健一)

